

# 第53回技能五輪2次予選会

宮城県工業高等学校

## 「旋盤職種出場」

機械科3年 山田歩夢選手(槻木中卒)

電子機械科2年 成澤 亮選手(南吉成中)



山田歩夢選手

成澤亮選手



県工生の活躍を期待します！

## 大会概要

8月27日（木）から29日（土）にかけ、ポリテクセンター中部を会場に、第53回技能五輪2次予選会「旋盤職種」が行われました。参加選手は、企業・学生を含め96名がエントリーしました。その中から上位40名程度が選抜され12月に開催される技能五輪の本選に出場することができます。

予選課題は2時間45分以内に支給された材料3本を図面通りに製作し、「部品・組立寸法精度」、「作品の摺動部による滑らかさ」などを競う競技であり、制限時間内に製作完了することはかなりの難題と言えます。

本校から、機械技術部所属の上記選手が参加しました。予選会の結果については、中央職業能力開発協会のHP上に公開されます。

## 山田歩夢選手コメント（柴田郡槻木中出身）

私は8月29日に愛知県小牧市にあるポリテクセンター中部で行われた第53回技能五輪全国大会「旋盤」職種二次予選会に参加してきました。去年までだと学生だけで出場枠を競う学生予選というものがあったのですが、今年から旋盤職種は選手の増加に伴い全国大会の前に企業の選手や学生などを含めた約96名の中から成績優秀者の上位40名に全国大会への出場権が与えられるというものになりました。この課題は企業の人も相手にしているため難易度がかかなり高いです。部品一つ一つの難易度はそれほど高くはないのですが、制限時間が驚異的に短いので時間を入れるのが苦労しました。捨てられるところは全て捨てて出来るだけ組み寸を入れ完成に持ち込むことを目標にしなければいけなかったので自分の中でかなりの迷いがありました。大会では途中で怪我をしてしまいそれからパニック状態に陥ってしまい満足いく作品は作ることは出来ませんでした。私は、この悔しさをバネに企業に行っても諦めずに旋盤を続けていきたいです。

## 成澤亮選手コメント（南吉成中出身）

高校に進学し、自分が思っていたこと、それはもっと楽に、気ままにダラダラとした生活をした。そんな事ばかりでした。しかし友人に勧められ一緒に入った部活動が自分の志や未来を変えました。

機械技術部では、遅くまでの訓練。それに耐え、結果を残していった先輩方がいました。昔の自分はこの部が「面倒」と考えていました。それは先輩方が努力している間、自分が手を抜くわけにもいかず、自分の思う楽な生活とは違っていたからです。

技能五輪二次予選が近付きました。それでもやはり「面倒」と感じることはなくなりませんでした。が、「面倒でもやり通そう。」そう思うようになりました。

それは自分一人では至れない答えだったと思います。親身になってくれた先生方や外部講師の方で自分に関わった方々に感謝して、これからもやり通そうと思います。



**継続指導を大切にしています！**